

No.30

# 明日への扉

## マーケットで発信 おおすみの魅力

くま さき かず よ  
隈崎 和代 さん



「大隅は花マル（満点）だよ」という意味を込めて名付けた「おおすみハナマルシェ」。シンボルマークの「花」は、大隅4市5町を表す9つの花びらが1本のリボンでつながっている様子を描いている。



昭和46年垂水市生まれ。垂水高校卒業後、平成2年第一幼児教育短期大学に入学。卒業後、県内の保育園に勤務したのち、平成13年4月から南部幼稚園（現・認定こども園南部幼稚園）に勤務し、現在、主幹保育教諭。「おおすみハナマルシェ」実行委員長。鹿屋市在住。

もともと、いろいろなお店に行ったり、お店を通じて人とつながったりするのが好きだったので、様々なイベントやマーケットにボランティアとして関わっていました。活動をしていく中で、大隅にある魅力的なお店を一所に集めて、マーケットを開いたら、面白いのではないかと、思うようになりました。大隅には、いい物売っているのに、知られていないお店がたくさんあります。口コミなどのつながりから、いいお店を見つけて、その店主の想いやこだわりを聞いていくうちに、この品を、この店主を、前に出してあげて応援したいと思いました。

また、幼児教育に携わっているため、将来、子どもたちが同じ空間で笑って過ごせられるよう、大隅の自然・空気・食べ物を大事に残してあげたいという思いもありました。

しかし、いくら声を大にしても、SNS等で情報を発信しても、限界を感じました。そこで、「自ら運営するイベントだったら自由に発信できる」と、市役所の協力も得ながら立ち上げたのが、大隅の食品や雑貨などを発信するマーケットイベント「おおすみハナマルシェ」でした。

当初のスタッフは、構想に賛同してくれた女性と私2人だけ。2人で3か月間、昼夜を問わず奔走して、平成27年11月の第1回目の開催にこ

ぎ付けました。以降、多くの皆さんに評価いただき、自分たちも成長しながら、これまで計4回開催することができました。今では約60店舗が集まります。開催するのは毎回大変ですが、お客様や出店者が喜ぶ姿を見ると、「やって良かった」、「また頑張ろう」と感じられるところが、活動の魅力ですね。

「おおすみハナマルシェ」のスタンスは、不定期かつ場所を特定しないこと。それから、女性ならではの、女性だから配慮できることへのこだわり。現在5人に増えたスタッフもやはり、いずれも女性です。

現在は地域のイベントと共同で開催させていただいていますが、将来的には単独でも開催できるようにしたいと思っています。また、ネットショップ等で、品物を一括して県外のお客様にも提供できるように仕組みを作りたいですね。そして、「宣伝の仕方が分からない」、「もう高齢だからやめたい」というお店に元気になってもらい、今後もお店を続けていってもらえれば、地域の購買力も、住む人々の人間力も上がって、大隅全体が強くなっていくのではないかと考えています。

**隈崎 和代さんが出演**  
  
**FMかのや** (7.2MHz)  
 5月29日(月) 9時5分から  
 (予定)